

民青同盟と一緒にやってみませんか。2026年新歓加盟呼びかけ文

<1>私たち日本民主青年同盟（民青同盟・民青）は、学園・地域・職場など草の根で活動している青年・学生団体です。1923年創立（今年で104年目！）、15歳から30歳まで、全国約8500人のメンバーがいます。相談相手は、戦前から平和と暮らしのためにブレずに活動し、裏金問題や統一協会問題を追及してきた日本共産党（1922年創立、国会議員11人、地方議員約2200人、党員約25万人、後援会員・サポーター約270万人）です。

<2>いま、日本も世界も激動のときです。平和的秩序の構築、格差と貧困、気候危機、ジェンダー・人権の問題など、あらゆる分野で歴史の本流と逆流がぶつかり合い、大きな音を立てています。日本では、1955年以降の「財界中心」「アメリカいいなり」を特質とする自民党政治が行き詰まり青年・国民の模索が強まる一方で、公明党による立憲民主党の吸収、自民党が衆院三分の二議席確保など、危機的ともいえる状況が生じています。危機と展望が交錯するこの時代にどう学び、どう生きるか。一人ひとりが鋭く問われているのではないのでしょうか。

<3>この時代の中で、全国各地草の根で行動してきたのが民青です。47都道府県でのべ16万人以上が利用した食料支援活動、生活労働相談ボランティアやネットカフェ利用者調査、高学費問題の実態を大学や政治・行政に届ける要請行動、小中高生対象の無料塾、原水爆禁止世界大会への参加、選挙前政策学習や政党との懇談。要請行動では、ネットカフェ利用者向けに宿泊施設を用意させたり、複数自治体で食料支援や学生支援の予算をつけさせたりすることができました。各地でロシアのウクライナ侵略反対やイスラエルのガザ攻撃中止を求める行動などをするとともに、政府が進める大軍拡と改憲に反対し、青年・青年団体と共同で全国各地に300以上の「若者憲法集会実行委員会」を結成。昨年5月25日には東京・銀座で1100人規模のデモを開催するなど声をあげてきました（今年は5月31日に開催予定）。私たち一人ひとりの力は小さくとも、力を合わせれば社会や政治を変え、歴史を前に進めることができます。民青で得る経験や感覚は、専門学問を深め生かしていくうえでも大きな力になるはず。あなたも一緒に学び行動し、民主主義の担い手として成長してみませんか。

<4>民青同盟が情勢を踏まえて適切な活動をできるのは、事実に基づく科学的なものの見方を学習しているからです。マルクスらの創始した「科学的社会主義」を学べば、現代社会のあらゆる出来事の根本にある資本主義経済の仕組みがわかり、資本主義経済の可能性と限界が見えてきます。科学的社会主義の理論を日本社会に適用した「日本共産党綱領」を学べば、「財界中心」「アメリカいいなり」を特質とする自民党政治の仕組みと、それをどう変えていけばいいのかが見えてきます。民青は、体系的かつ歴史的蓄積のある理論を学んでいるからこそ、自民党政権はじめ、どのような局面でも社会が変わる展望を見出し、前向きに活動していけるのです。

また、科学的社会主義は、ドイツの古典哲学、イギリスの古典派経済学、フランスの空想的社会主義などを源流とする総合的な理論体系なので、経済学はもちろん、哲学、文学、法学、教育学、社会学、生物学、物理学などあらゆる専門学問を深める上でも役に立ちます。社会や各学問を連関の中でとらえることで、あなたの大学での学びはよりいっそう豊かで面白いものになるはず。全国各地草の根での『資本論』学習会を開催したり、科学的社会主義の最新の入門書『科学的社会主義 Q&A』を発行したりしているのも私たち民青同盟です。ソ連や中国とは違う、最新の、「人間の自由」を中心においた社会主義・共産主義論についても、民青同盟では学べます。気軽に真剣に、学びの一步を一緒に踏み出してみませんか。

<5>いま、一見、展望の見えづらい社会かもしれません。しかし、私たちは、「財界中心」「アメリカいいなり」という自民党政治から抜け出すことで、この国が激動期を乗り越えて、もっといい国になるという確信をもっています。トリクルダウンではなくボトムアップの経済政策、タックス・ザ・リッチの財源論、中国に言うべきことを言い、トランプ大統領に従うだけでない日本の強みを生かした平和外交、日本には大きな可能性があります。

自民党に投票しているのは有権者のうち20%（2026年衆院選比例票）に過ぎません。紆余曲折を経ながらも、この国の政治が「財界中心」「アメリカいいなり」から抜け出していく新しいプロセスが始まっています。私たちは、このプロセスの進行を後押しするという大きな視点から、学びや交流、運動を強めています。

民青で学ぶ政治や社会の捉え方は、大学での学びや進路選択にも積極的な意味を持つはず。あなたも、政治が変わる科学的な展望を掴み、明るく政治や社会と向き合いながら、かけがえのない学生時代を前向きに過ごしてみませんか。

<6>民青同盟の活動の基本は週一回の班会です。空きコマや5限後などの班会でプランをつくって実行していきます。関心から出発した学習、なべ会などの交流会、食料支援活動のほか、カリキュラム相談、テスト前勉強会、アルバイトの相談など、大学生活を支える取り組みもしています。

同盟費はひと月550円（減免制度あり）、新聞も発行しています。他のサークル・団体との掛け持ちも応援します。多くの卒業生が、民青で学び交流し行動し、それを通じて成長し、民間企業、公務員、弁護士、研究者、医療従事者、国会議員・地方議員など、様々な分野で活躍しています。このような時代に、どう学び、どう生きるか、同世代と率直に話し合えるのが民青同盟です。難しそうに見えるかもしれませんが、知識ゼロから学び始められるのが自慢です。これから、激動の時代のなかで学ぶあなたへ、民青同盟への加盟を心から呼びかけます。